

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成19年3月29日(2007.3.29)

【公表番号】特表2006-518259(P2006-518259A)

【公表日】平成18年8月10日(2006.8.10)

【年通号数】公開・登録公報2006-031

【出願番号】特願2006-503417(P2006-503417)

【国際特許分類】

A 6 1 F 13/02 (2006.01)

A 6 1 F 13/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 F 13/02 3 8 0

A 6 1 F 13/02 3 4 5

A 6 1 F 13/02 3 1 0 T

A 6 1 F 13/00 3 0 1 G

A 6 1 F 13/00 3 0 1 A

【手続補正書】

【提出日】平成19年2月8日(2007.2.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

バッキング層を含む創傷被覆材；及び

前記バッキング層に剥離可能に取り付けられた被覆材支持層であって、前記創傷被覆材の外周に沿って前記バッキング層の交互にある多数の被覆および非被覆部分を形成する放射状構造を有する、被覆材支持層；
を含む、創傷被覆材および送達システム。

【請求項2】

前記支持層が、前記被覆材の縁端に向かって前記被覆材の内部から放射状に広がる多数の延長部分を含む、請求項1に記載の創傷被覆材および送達システム。

【請求項3】

前記被覆材支持層の前記外周が、バッキング層に剥離可能に付着されるが、前記被覆材の中央に隣接する前記被覆材支持層の中央部分の少なくとも一部は、前記バッキング層に付着されない、請求項1に記載の創傷被覆材および送達システム。

【請求項4】

創傷上に置かれるように構成された創傷被覆材基材であって、曲げやすく吸収性の低い外周によって囲まれた吸収性内部を有する、被覆材基材；

創傷上に前記創傷被覆材基材を置く前には、前記創傷被覆材の基材上に保持され、それが創傷に適用された後には、前記創傷被覆材の基材から除去されるように構成された、被覆材送達基材；

を含む創傷被覆材および送達システムであって、

前記送達基材が、内部に隣接して位置付けられる1つまたは複数の中央部分と、前記被覆材基材の周囲に向かって1つまたは複数の中央部分から放射状に広がる多数の延長部分と、を有する、創傷被覆材および送達システム。